

(2) 特別会計



ア 介護保険

事業名	介護認定審査事業		会計	08 介護保険特別会計		予算区分	経常	
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算科目	款	01 総務費			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		項	03 介護認定審査会費			
主管課	健康福祉部 介護支援課		目	01 介護認定審査会費				
主管課長	早川 仁		事業コード	01 - 01				
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	要介護認定及び要支援認定を受けようとする被保険者			介護や支援を必要とする方に対し、必要な介護サービスが受けられるよう、適切な要介護認定を行い、介護認定審査会による審査判定を行う。				
事業内容	介護認定審査会による審査判定に基づく保険者としての要介護(要支援)認定の実施。							
事業の実績	介護認定審査会における審査判定件数	5,535	件	決算額	事業費計		18,065,172 円	
					国庫支出金	0 円		
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
			その他特定財源	18,065,172 円				
			一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果	公平・公正な審査判定を確保するため、千葉県主催の認定審査会現任研修(審査会委員対象)、介護認定適正化研修(職員対象)に参加した。		繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無



介護認定審査員による審査判定の様子

事業名	地域包括支援センター委託事業		会計	08	介護保険特別会計	予算区分	経常
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予 算 科 目	款	03	地域支援事業費	
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		項	02	包括的支援事業・任意事業費	
				目	01	包括的支援事業費	
主管課	健康福祉部 介護支援課		主管課長	早川 仁		事業コード	01 - 01
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	65歳以上の高齢者		市からの事業委託に基づき、高齢者（65歳以上）の介護や福祉に関する相談を受け付けて適切なサービス、制度の利用につなぐ支援を実施することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるようにする。				
事業内容	地域包括支援センターは、市内4か所（北部、中部、南部、東部）に、地域の高齢者の福祉や介護に関する総合相談窓口として設置しており、相談を受けた結果、必要な方に介護・高齢者サービスの紹介を行ったり、介護予防のケアプランを作成している。						
事業の実績	相談件数	16,728	件	決算額	事業費計		100,000,000 円
	介護予防プラン作成件数	1,216	件		国庫支出金	39,500,000 円	
					県支出金	19,750,000 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	40,750,000 円	
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



北部地域包括支援センターの職員

事業名	介護給付適正化事業		会計	08	介護保険特別会計	予算区分	経常
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算科目	款	03	地域支援事業費	
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		項	02	包括的支援事業・任意事業費	
主管課	健康福祉部 介護支援課		目	02	任意事業費		
主管課長	早川 仁		事業コード	01 - 01			
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	介護（予防）サービス利用者及び居宅支援事業所		適正な介護サービスが受けられるようにする。 適正な居宅介護サービス計画が作成できるようにする。				
事業内容	介護給付通知の作成と発送：介護サービス利用者に対して、サービス利用料の請求状況を通知し、不正請求の防止を図る。 ケアプラン点検：市職員が居宅支援事業所を訪問しケアプランの内容の点検及び指導を行う。						
事業の実績	介護給付通知発送件数	15,222	件	決算額	事業費計		6,891,857 円
	ケアプラン点検実施事業所数	5	件		国庫支出金	2,722,283 円	
	不適切請求指摘件数	732	件		県支出金	1,361,142 円	
	不適切請求による報酬返還額	2,404,084	円		分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
基金繰入金				0 円			
			地方債	0 円			
			その他特定財源	2,808,432 円			
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無		無	継続費の設定	無



適正なケアプランを検討している職員

イ 後期高齢者医療

事業名		給付事務事業		会計	09	後期高齢者医療特別会計	予算区分	経常
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算科目	款	01	総務費	
					項	01	総務管理費	
					目	01	一般管理費	
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり						
主管課		健康福祉部 高齢者生きがい推進課		主管課長		今野 忠光	事業コード	04 - 01
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	後期高齢者医療制度の被保険者（75歳以上の高齢者及び65歳以上の障害認定者）			後期高齢者医療制度の被保険者の健康保持増進と適切な医療を確保する。				
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者への医療給付等（高額療養費、葬祭費、高額介護合算療養費）に対して、適正に通知を行う。							
事業の実績	被保険者数		15,077	人	決算額	事業費計		891,244 円
	葬祭費の支給件数		786	件		財源内訳	国庫支出金	0 円
						県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
				その他特定財源	891,244 円			
				一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	被保険者の負担軽減、健康の保持増進と適切な医療の確保。			繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無

事業名		保険料徴収管理事業		会計	09	後期高齢者医療特別会計	予算区分	経常
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算科目	款	01	総務費	
					項	02	徴収費	
					目	01	徴収費	
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり						
主管課		健康福祉部 高齢者生きがい推進課		主管課長		今野 忠光	事業コード	01 - 02
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	後期高齢者医療制度の被保険者（75歳以上の高齢者及び65歳以上の障害認定者）			後期高齢者医療制度の安定した制度基盤を確立する。				
事業内容	広域連合により算定された保険料額に基づき、徴収する。							
事業の実績	保険料の収納率（現年度分）		99.29	%	決算額	事業費計		5,531,330 円
	保険料の収納率（滞納繰越分）		36.55	%		財源内訳	国庫支出金	0 円
						県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
				その他特定財源	5,531,330 円			
				一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	被保険者の負担軽減、健康の保持増進と適切な医療の確保。			繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無

ウ 国民健康保険

事業名		特定健康診査等事業		会計	02	国民健康保険特別会計	予算区分	政策
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算科目	款	08	保健事業費	
					項	01	特定健康診査等事業費	
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり			目	01	特定健康診査等事業費	
主管課		健康福祉部 健康増進課		主管課長		河原 智明	事業コード	01 — 51
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	40歳以上の国民健康保険者の被保険者			メタボリックシンドロームに着目した健診と保健指導を実施し、生活習慣病を予防する。				
事業内容	特定健康診査は、生活習慣病やメタボリックシンドロームの発症・進行を防ぐことを目的としており、健診結果でメタボリックシンドロームのリスクが高い対象者に対して、健康的な生活習慣を身につけるための特定保健指導を実施する。（健診項目）診察・身体計測・血圧測定・血液検査・尿検査など。							
事業の実績	対象者数	30,596	人	決算額	事業費計		119,603,951 円	
	受診者数	12,853	人		財源内訳	国庫支出金	0 円	
	受診率	42	%			県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
			その他特定財源	119,603,951 円				
			一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	

事業名		人間ドック助成事業		会計	02	国民健康保険特別会計	予算区分	経常
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算科目	款	08	保健事業費	
					項	02	保健事業費	
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり			目	01	保健衛生普及費	
主管課		市民生活部 国保年金課		主管課長		湯浅 邦彦	事業コード	01 — 03
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	35歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者			疾病の早期発見・早期治療を行い、高額な医療費の削減を目的とする。				
事業内容	短期人間ドックは、標準的な健康診断項目について、自己負担額12,600円を支払い、市内8か所の医療機関で検査を受ける。							
事業の実績	利用助成件数	1,270	人	決算額	事業費計		37,446,402 円	
					財源内訳	国庫支出金	0 円	
						県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
	地方債	0 円						
			その他特定財源	37,446,402 円				
			一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	

工 土地区画整理事業

事業名	区画整理事業対象事務管理事業			会計	07	土地区画整理事業特別会計	予算区分	経常
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予算	款	01	総務費	
				科	項	01	総務管理費	
				目	目	01	一般管理費	
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備						
主管課	都市整備部 西平井・鰯ヶ崎地区区画整理事務所			主管課長	宮崎 浩		事業コード	02 - 01
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	西平井・鰯ヶ崎地区			公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図る。				
事業内容	西平井・鰯ヶ崎地区一体型特定土地区画整理事業を円滑に進めるために必要な事務経費である。							
事業の実績				決算額	事業費計		4,726,881 円	
					財源内訳	国庫支出金	0 円	
						県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
				その他特定財源	4,726,881 円			
				一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	本体事業について、必要な見直しを行ない、計画的に推進している。			繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無



本覚寺南側の工事風景

事業名	土地区画整理事業		会計	07	土地区画整理事業特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予算科目	02	土地区画整理事業費		
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	項目	01	土地区画整理事業費		
主管課	都市整備部 西平井・鰭ヶ崎地区区画整理事務所		主管課長	宮崎 浩		事業コード	01 - 51
事業目的	対象（誰を・何を） 西平井・鰭ヶ崎地区		意図（どういう状態にしたいのか） 公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図る。				
事業内容	「宅鉄法」に基づき、鉄道整備と宅地開発を一体的に計画・整備するものであり、土地区画整理事業により道路、公園等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図るものである。						
事業の実績	仮換地指定率	67.6	%	決算額	事業費計		883,998,783 円
	道路整備延長率	52.5	%		国庫支出金	67,182,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	552,000,000 円	
			その他特定財源	264,816,783 円			
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	事業推進により都市計画道路の供用が開始され、併せてスーパーマーケットが開店し地域住民の生活利便性が向上した。	繰越・継続費の状況	繰越の有無		有	継続費の設定	無
			前年度からの明許繰越額	227,892,825円			
			前年度からの事故繰越額	17,659,100円			
			翌年度への明許繰越額	525,378,490円			
			翌年度への事故繰越額	2,953,100円			



区画整理されたマミーマート前

オ 公共下水道

事業名	江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業		会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策			
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予算科目	款	02	公共下水道事業費				
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進		項	01	公共下水道事業費				
主管課	土木部 下水道建設課			目	01	既成市街地汚水事業費				
主管課長	土木部 下水道建設課		主管課長	中山 貢一		事業コード	03 - 51			
事業目的	対象（誰を・何を） 江戸川左岸流域関連公共下水道		意図（どういう状態にしたいのか） 公共下水道の整備を図る。							
事業内容	江戸川左岸流域関連公共下水道(汚水)の整備を行う。									
事業の実績	各年度の整備面積	29.42	ha	決算額	事業費計		1,050,093,573 円			
	各年度整備延長	8,479.5	m		財源内訳	国庫支出金	447,400,000 円			
						県支出金	0 円			
						分担金・負担金	0 円			
						使用料・手数料	0 円			
						基金繰入金	0 円			
						地方債	416,400,000 円			
				その他特定財源	186,293,573 円					
				一般財源	0 円					
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無					有	継続費の設定	無
			前年度からの明許繰越額					121,565,600円		
			前年度からの事故繰越額					40,697,500円		
			翌年度への明許繰越額					75,587,000円		
			翌年度への事故繰越額					21,512,950円		



下水道管布設工事の様子

事業名	手賀沼流域関連公共下水道整備事業		会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予	款	02	公共下水道事業費	
			算	項	01	公共下水道事業費	
施 策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	科	目	01	既成市街地汚水事業費	
主管課	土木部 下水道建設課		主管課長		中山 貢一	事業コード	03 - 53
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	手賀沼流域関連公共下水道		公共下水道の整備を図る。				
事業内容	手賀沼流域関連公共下水道(汚水)の整備を行う。						
事業の実績	各年度の整備面積	0.78	ha	決算額	事業費計		126,313,000 円
	各年度の整備延長	421.6	m		国庫支出金	31,000,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
			地方債	31,000,000 円			
			その他特定財源	64,313,000 円			
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無		有	継続費の設定	
			前年度からの明許繰越額	46,187,500円	無		
			翌年度への明許繰越額	77,430,000円			
			翌年度への事故繰越額	13,419,000円			



駒木地先下水道管布設工事の様子

事業名	地区内污水整備事業		会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予算科目	款	02	公共下水道事業費	
				項	01	公共下水道事業費	
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	目	02	つくばエクスプレス沿線関連汚水事業費		
主管課	土木部 下水道建設課		主管課長	中山 貢一		事業コード	01 - 51
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	つくばエクスプレス沿線整備区域（新市街地区等3地区）内に居住する住民		つくばエクスプレス沿線整備区域内の公共下水道（污水）整備推進により住環境の向上を図る。				
事業内容	つくばエクスプレス沿線整備区域内の公共下水道（污水）の整備を推進することで、住環境を向上し区画整理地の整備・活用を促進する。						
事業の実績	各年度の整備面積	24.1	ha	決算額	事業費計		194,798,000 円
					国庫支出金	45,000,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	86,000,000 円	
			その他特定財源	63,798,000 円			
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無		有	継続費の設定	無
			前年度からの明許繰越額 25,000,000円 翌年度への明許繰越額 24,000,000円				



小口径泥水推進工

事業名	西平井・鱒ヶ崎地区汚水整備事業			会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予算科目	款	02	公共下水道事業費	
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進			項	01	公共下水道事業費	
主管課	土木部 下水道建設課			目	02	つくばエクスプレス沿線関連汚水事業費		
主管課長	中山 貢一			事業コード	01 — 52			
事業目的	対象（誰を・何を） 西平井・鱒ヶ崎地区および鱒ヶ崎・思井地区の公共下水道（汚水）			意図（どういう状態にしたいのか） 土地区画整理事業の進捗に合わせた公共下水道整備の推進。				
事業内容	西平井・鱒ヶ崎地区及び鱒ヶ崎・思井地区土地区画整理事業の進捗に合わせ公共下水道整備を進める							
事業の実績	各年度の整備面積	1.8 ha		決算額	財源内訳	事業費計		27,278,500 円
						国庫支出金	3,000,000 円	
						県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	3,000,000 円	
			その他特定財源	21,278,500 円				
			一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無		有	継続費の設定		無
			前年度からの明許繰越額		9,076,000円		翌年度への明許繰越額	

事業名	地区内雨水整備事業			会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予算科目	款	02	公共下水道事業費	
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備			項	01	公共下水道事業費	
主管課	土木部 下水道建設課			目	03	つくばエクスプレス沿線関連雨水事業費		
主管課長	中山 貢一			事業コード	01 — 56			
事業目的	対象（誰を・何を） つくばエクスプレス沿線土地区画整理地区内に居住する住民			意図（どういう状態にしたいのか） つくばエクスプレス沿線整備区域内の雨水を速やかに排除・処理することにより住環境の向上を図る。				
事業内容	つくばエクスプレス沿線整備区域内の公共下水道（雨水）の整備を推進することで、住環境を向上し区画整理地の整備・活用を促進する。							
事業の実績	T×沿線整備地区内の公共下水道雨水整備面積	6.8 ha		決算額	財源内訳	事業費計		126,825,000 円
						国庫支出金	10,000,000 円	
						県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	48,500,000 円	
			その他特定財源	68,325,000 円				
			一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無		有	継続費の設定		無
			前年度からの明許繰越額		22,500,000円		前年度からの事故繰越額	
			翌年度への明許繰越額		30,180,000円			

事業名	野々下1号雨水幹線整備事業		会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	02	公共下水道事業費	
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進		項	01	公共下水道事業費	
				目	04	既成市街地雨水事業費	
主管課	土木部 河川課		主管課長	鈴木 和男		事業コード	01 - 52
事業目的	対象（誰を・何を） 野々下4、5丁目（市道232号線周辺）の市民		意図（どういう状態にしたいのか） 野々下1号雨水幹線整備を行い、野々下4、5丁目の浸水被害を防ぐ。				
事業内容	野々下1号雨水幹線整備工事。 野々下1号雨水幹線整備工事に伴う舗装復旧工事。 家屋調査業務委託。						
事業の実績	野々下1号雨水幹線整備率	100	%	決算額	事業費計		242,484,075 円
	舗装復旧率	0	%		財源内訳	国庫支出金	69,000,000 円
	家屋補償契約締結率	83	%			県支出金	0 円
						分担金・負担金	28,066,616 円
						使用料・手数料	0 円
						基金繰入金	0 円
					地方債	69,000,000 円	
					その他特定財源	76,417,459 円	
					一般財源	0 円	
指標で表すことができない定性的な成果	自治会との話し合いで既設水路を残存し、路面排水能力を向上させている。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	有	継続費の設定	有
				前年からの明許繰越額	27,911,075円	前年からの遞次繰越額	127,399,800円
				翌年への明許繰越額	6,923,000円	平成23年度から2力年事業費	271,740,000円
				平成23年決算額	60,000,000円	平成24年決算額	211,740,000円



野々下1号雨水管線工事の様子

事業名	向小金雨水幹線整備事業		会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	02	公共下水道事業費	
				項	01	公共下水道事業費	
				目	04	既成市街地雨水事業費	
施 策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進					
主管課	土木部 河川課		主管課長	鈴木 和男		事業コード	01 - 53
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	向小金2、3丁目の市民		向小金雨水幹線を延伸整備し、向小金2、3丁目の浸水被害を防ぐ。				
事業内容	JR常磐線側道試掘調査業務委託。 繰越明許、JR軌道横断設計施行委託。 繰越明許、市道・県道部雨水幹線実施設計業務委託。						
事業の実績	向小金雨水幹線整備率	0	%	決算額	事業費計		7,758,550 円
	業務委託成果	3	業務		国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	7,758,550 円	
一般財源	0 円						
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無		有	継続費の設定	無
			前年度からの明許繰越額6,807,250円 翌年度への事故繰越額21,986,000円				

